

日本の友人たちが森林火災救援に手をさし伸べる

カムデンと日本の柏の友情の手が固く結ばれた。海外の友人からの募金活動が地元の森林火災の取り組みを支援するのに役立っている。

柏市国際交流協会(KIRA)事務所と柏駅での募金活動で 2,500 ドルものお金があつまり、ニュー・サウス・ウェールズ州地方消防局 (RFS) の森林消防団に寄付され、マッカーサー消防隊に分配された。

20 年以上にわたり、カムデンの人たちと柏市民は絆を深めてきた。

「両国を相互に訪問する学生たちは毎年のハイライトであり、長きにわたり友情をはぐくんできた。

またホストファミリー同士の個人的な訪問もなされてきた」、とカムデン国際友好協会 (CIFA) 会長のリチャード・リーメン氏は言う。

「カムデンと柏の友好都市協定は 1997 年に両市の議会で署名され、同時に市民によるツアーが組織された。

「相互訪問はすべてカムデン地区の住民と地域の学校の高校生たちに開かれている。

「住民たちはさらにカムデンの議会に代わり、これらのイベントを組織する CIFA に喜んで迎えられる。

リーメン氏が言うには、柏側の最近の姿勢は、交換プログラムの結果として発展した強い文化的かつ個人的な関係を重要視している。CIFA も同様に道案内となる文化的交換プログラムに参加した地元の高校生たちの活動で、福島で起きた日本の大惨事に応えた。

「不幸にも、新型コロナウイルス(COVID-19)による規制のために、今年度の交換訪問プログラムは中止となった」とリーメン氏は言う。

「2021 年の早い時期に、CIFA は 2021 年の派遣団となる 10 月の高校生参加者を募ることができることを願っているし、8 月には KIRA の派遣団をカムデンに迎えられることを願っている」。

注) 2011 年の東日本大震災ではカムデンから義援金が寄せられた。

写真キャプション：柏市国際交流協会(KIRA)のメンバーたちが地元のマッカーサー消防隊のために 2000 ドル以上募金した。